



# 桑名市からの実績・評価の報告

平成28年度

(社) 日本介護支援専門員協会東海ブロック研修会 in 三重

平成28年12月17日

桑名市保健福祉部地域介護課長 位田壮平



本物力こそ桑名力

# 「本物力こそ、桑名力」



お伊勢参らばお多度もかけよ、  
お多度かけねば片参り  
「多度大社」

桑名市



名古屋駅より、JR関西本線・近鉄名古屋線で約25分、  
東名阪自動車道経由で約30分。  
中部国際空港より、伊勢湾岸道経由で約1時間。



「なばなの里」

全国アミューズメントパーク  
入場者数第3位  
「ナガシマリゾート」



全国で3路線のみのナローゲージ  
「北勢線」



旧東海道伊勢国一の鳥居  
「七里の渡跡」



「その手は桑名の焼き蛤」



人馬一体となって  
絶壁を駆け上がる  
「多度上げ馬神事」



日本一やかましい祭  
「桑名 石取祭」

鹿鳴館で有名な  
コンドルの設計による  
山林王・諸戸家の邸宅  
「六華苑」



旧東海道42番目の宿場町桑名の銘菓  
「安永餅」



# 桑名市の概要

H16.12 旧桑名市、旧多度町、旧長島町が合併し、現在の桑名市が誕生

◆面積 136.68km<sup>2</sup>  
東西 16.50km  
南北 17.75km

◆日常生活圏域  
6圏域(東・西・南・北・多度・長島)

◆人口 143,158人  
男 70,588人  
女 72,570人

◆地域包括支援センター  
6箇所(直営1、委託5)

◆高齢者人口 35,579人  
高齢化率 24.85%

◆要介護・要支援認定率14.15%



(H28. 9. 30現在)

# 目次

1. 桑名市の取り組みについて  
－基本理念と重点施策－ . . . P 3
2. 計画の評価手法について . . . P 12
3. 各施策・事業における評価結果  
のまとめ . . . P 20
4. 計画のアウトカム評価 . . . P 27
5. 新しい「介護予防・日常生活支援  
総合事業」の周知 . . . P 33
6. 事例紹介 . . . P 37



桑名市  
KUWANA CITY

# 1. 桑名市の取り組みについて －基本理念と重点施策－



本物力こそ桑名力

# 計画の基本理念

【計画書 P. 22～25】

## セルフマネジメント（養生）

介護保険の被保険者である高齢者も、自らの健康の保持増進及び能力の維持向上に努めなければなりません。

それを前提とするサービスの提供は、「セルフマネジメント（養生）」に対する支援のためのものです。この場合においては、本人の理解に基づく選択が重視されなければなりません。

## 介護予防に資するサービスの提供

どのようなケアマネジメントにより、生活機能の向上を実現し、介護保険を「卒業」して地域活動に「デビュー」することが可能になるのか、という視点が重要です。

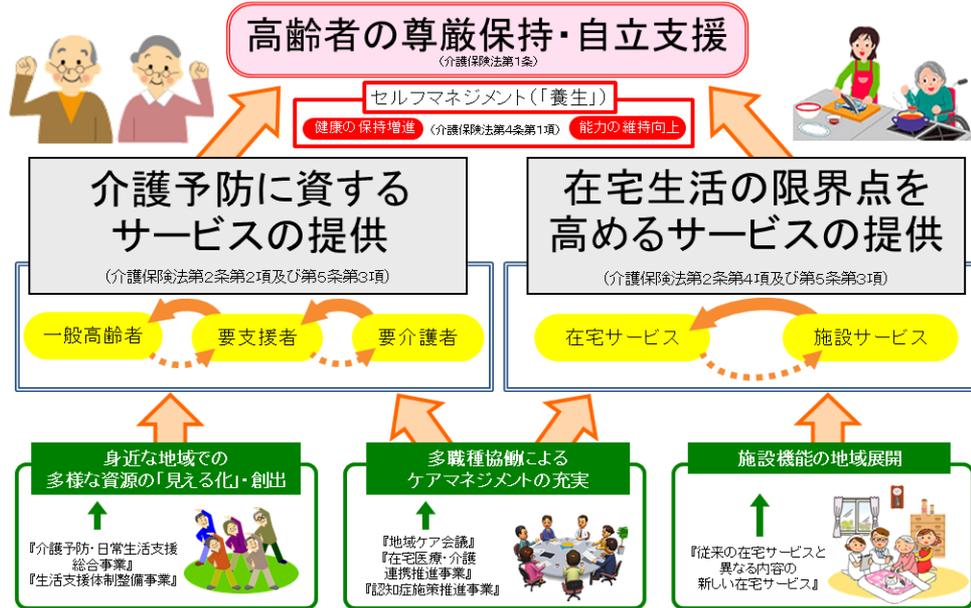
また、地域住民を主体として地域交流の機会を提供する「通いの場」など、身近な地域での多様な資源の「見える化」・創出に取り組むことが重要です。

## 在宅生活の限界点を高めるサービスの提供

どのようなケアマネジメントにより、施設に入所することなく、地域で在宅生活を継続し、住み慣れた環境で生き生きと暮らし続けることが可能になるのか、という視点が重要です。

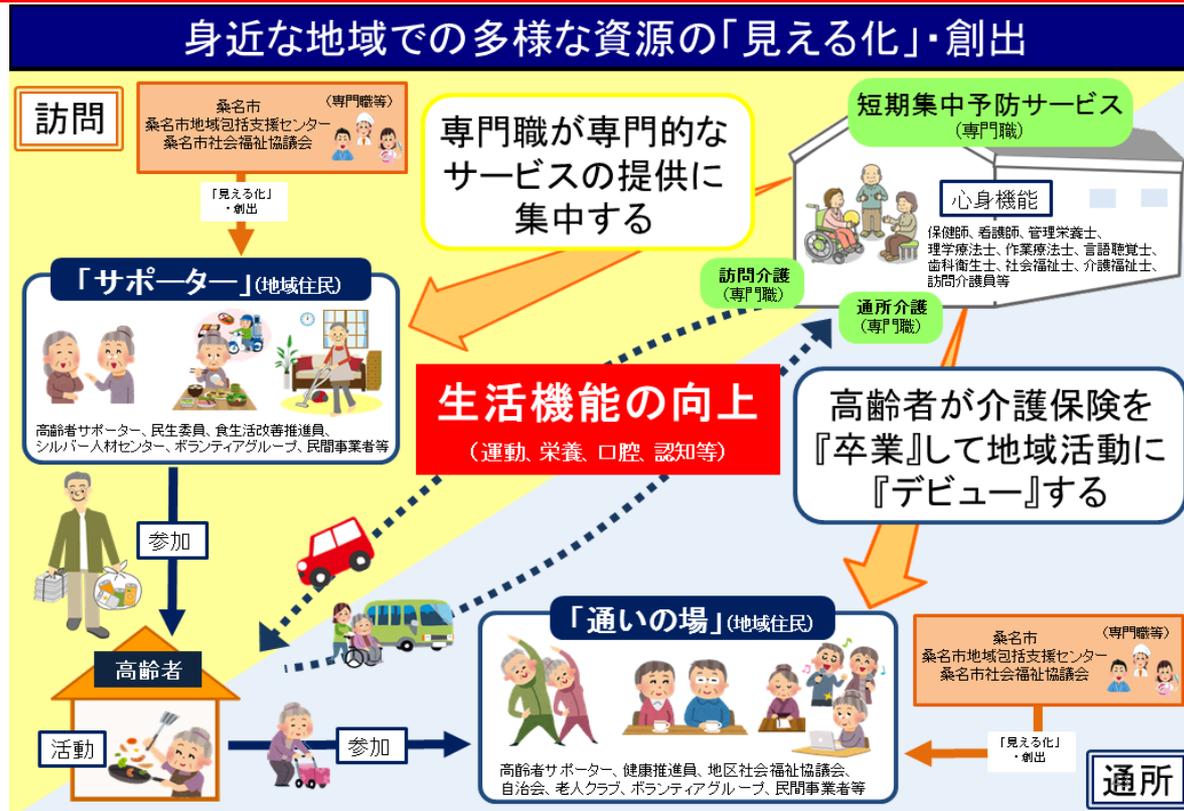
また、施設に入所することなく、地域で在宅生活を継続する限界点を高めるためには、施設サービスと同様な機能を地域に展開する在宅サービスの普及を促進することが重要です。

## 「桑名市地域包括ケア計画」の基本理念



# 【重点事項. 1】 身近な地域での多様な資源の「見える化」・創出

【計画書 P. 26～33】



介護予防に資するサービスの提供を実現するためには、身近な地域での多様な資源の「見える化」・創出に取り組むことが重要です。地域住民を主体として、支援を必要とする者を支援する「サポーター」や地域交流の機会を提供する「通いの場」の「見える化」・創出に取り組むことが求められます。

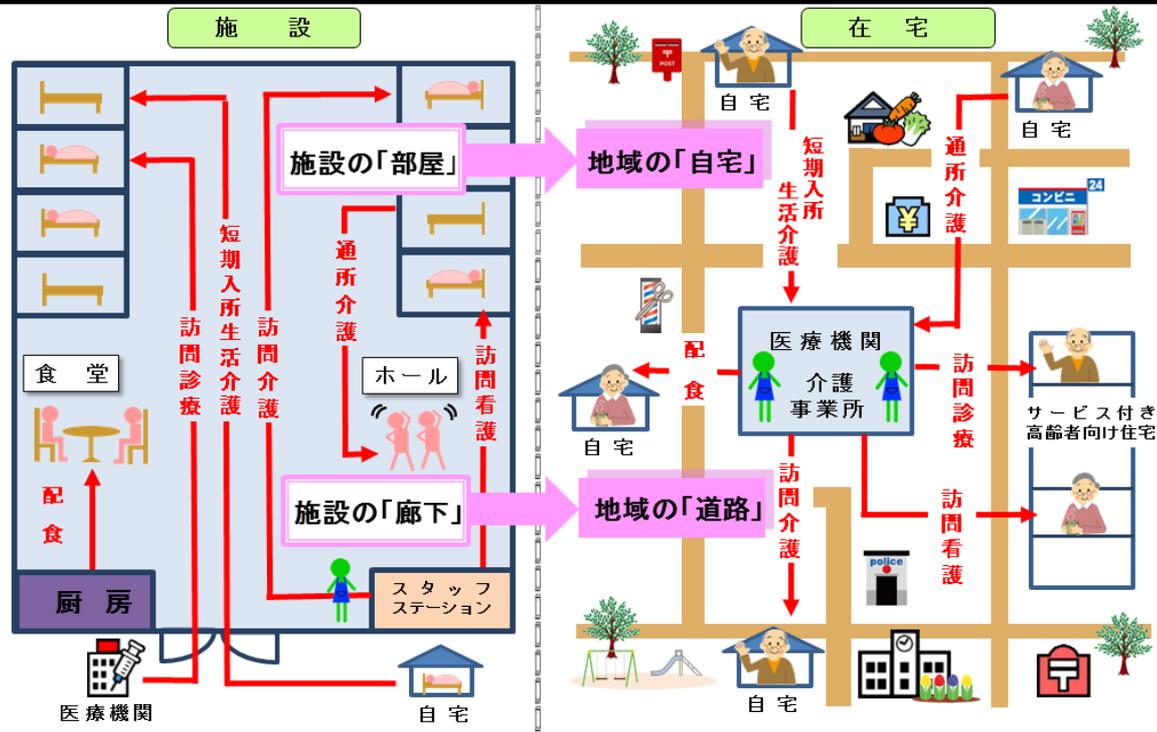
このため、

- 保健センター、地域包括支援センター等に配置された保健・福祉専門職等は、自らサービスを提供する「プレーヤー」から、地域住民による自発的な活動や参加を働きかける「マネージャー」へと役割を転換しなければなりません。
- また、地域づくりを推進するため、**平成27年度より**、平成26年度介護保険制度改革で地域支援事業の一類型として創設される**新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」、「生活支援体制整備事業」を実施します。**

## 【重点事項.2】 施設機能の地域展開

【計画書 P. 34～39】

### 施設機能の地域展開 ～施設と同じ安心を自宅に届ける「新しい在宅サービス」～



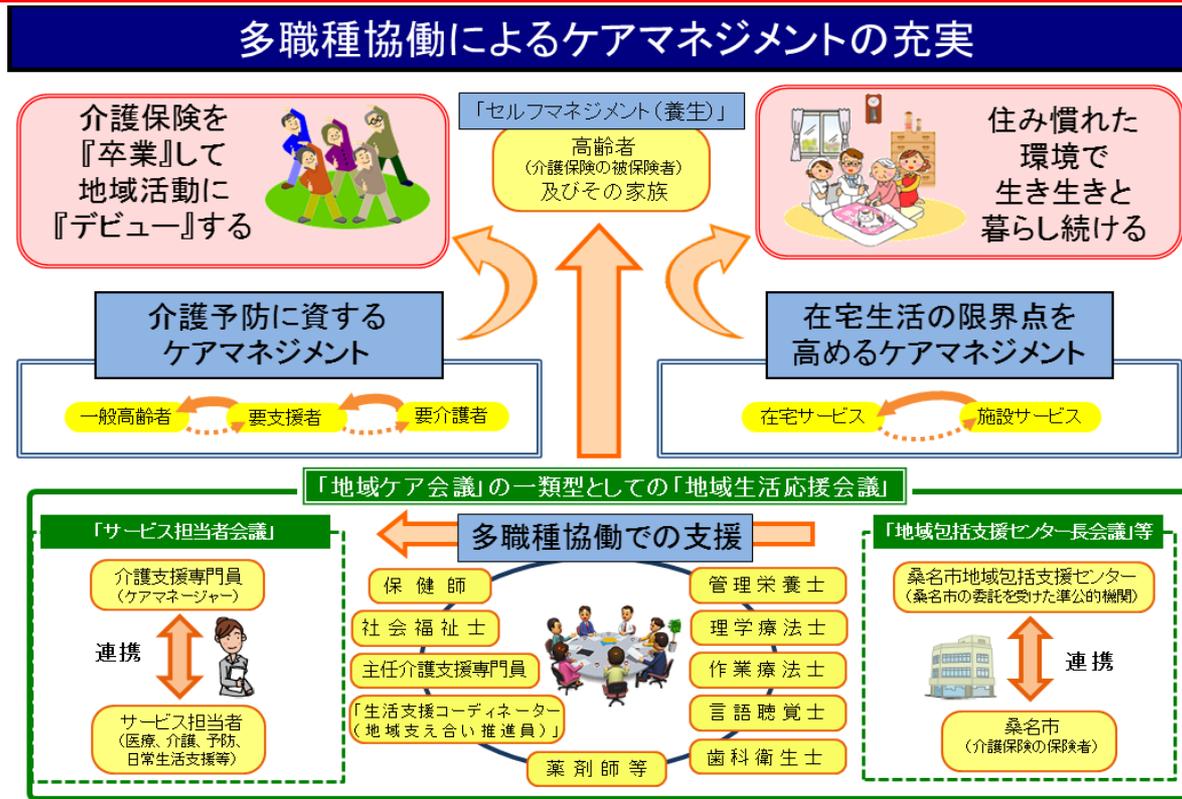
在宅生活の限界点を高めるサービスの提供を実現するためには、施設サービスと同様な機能を地域に展開する在宅サービスの普及を促進することが重要です。このため、今後とも、

- ① 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」
  - ② 「小規模多機能型居宅介護」及び「介護予防小規模多機能型居宅介護」
  - ③ 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」
- の提供体制の重点的な整備を推進します。

また、認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護に関しては、平成27～37年度の各年度における2か所の整備を想定しています。

# 【重点事項.3】多職種協働によるケアマネジメントの充実

【計画書 P. 40～44】



介護予防に資するサービスの提供及び在宅生活の限界点を高めるサービスの提供を実現するためには、個々の事例について、多職種協働によるケアマネジメントを実践することが重要です。

このため、今後とも、「**地域ケア会議**」の充実に取り組み、地域の高齢者世帯の困難事例の解決のための「**地域支援調整会議**」のほか、多職種協働でケアマネジメントを支援するための「**地域生活応援会議**」を開催します。

入退院を契機として在宅から施設へ移行する事例が少なくなく、地域連携を通じて在宅復帰を支援する退院調整の充実に取り組むことが求められるため、**平成27年度より「在宅医療・介護連携推進事業」を実施**します。

さらに、認知症について、危機の発生を前提とする「事後的な対応」から、危機の発生を防止する「事前的な対応」への構造的な転換を実現することが求められるため、**平成27年度より「認知症施策推進事業」を実施**します。

このように、多職種協働によるケアマネジメントの充実に取り組む体制を整備するため、**平成27年度より、地域包括支援センターの機能を強化**します。

# 地域包括ケアシステムの構築のために(1)

## 計画を具現化＝ミクロの取り組み

○マクロの理念で終わらせないために、個々のケースにおいて「自立支援」が実現するようケアマネジメントを充実する必要

・・・「地域生活応援会議」

○ケアマネジメントの充実には、地域資源の「見える化」・創出(サービスの多様化)が必要

・・・「介護予防・日常生活支援総合事業」



「多職種協働」によるケアマネジメントの実践  
地域ネットワークの構築  
地域資源の創出

## 地域包括ケアシステムの構築のために(2)

「地域生活応援会議」「総合事業」以外も同時進行で取り組む

『在宅医療・介護連携推進事業』・桑名市在宅医療・介護連携支援センター設立、ICTを活用した情報共有ツールの導入、「くわな在宅医療・介護マップ」の作成など

『認知症施策推進事業』・認知症ケアパス「くわな認知症安心ナビ」の作成、認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置、認知症初期集中支援チームの設置など

『生活支援体制整備事業』・1層、2層の生活支援コーディネーターを配置、2層の協議体設置準備など

『権利擁護事業』・福祉後見運営委員会の設置、福祉後見サポートセンターの開設、市民後見人養成講座の開始など

『健康増進事業と一体的な介護予防事業の展開』・日常生活圏域ニーズ調査による地域分析、地域分析を基に「ふれあいトーク」の実施、桑名いきいき体操を活用したスタート応援事業を開始、「通いの場」登録制度の開始、健康・ケアアドバイザー派遣事業など



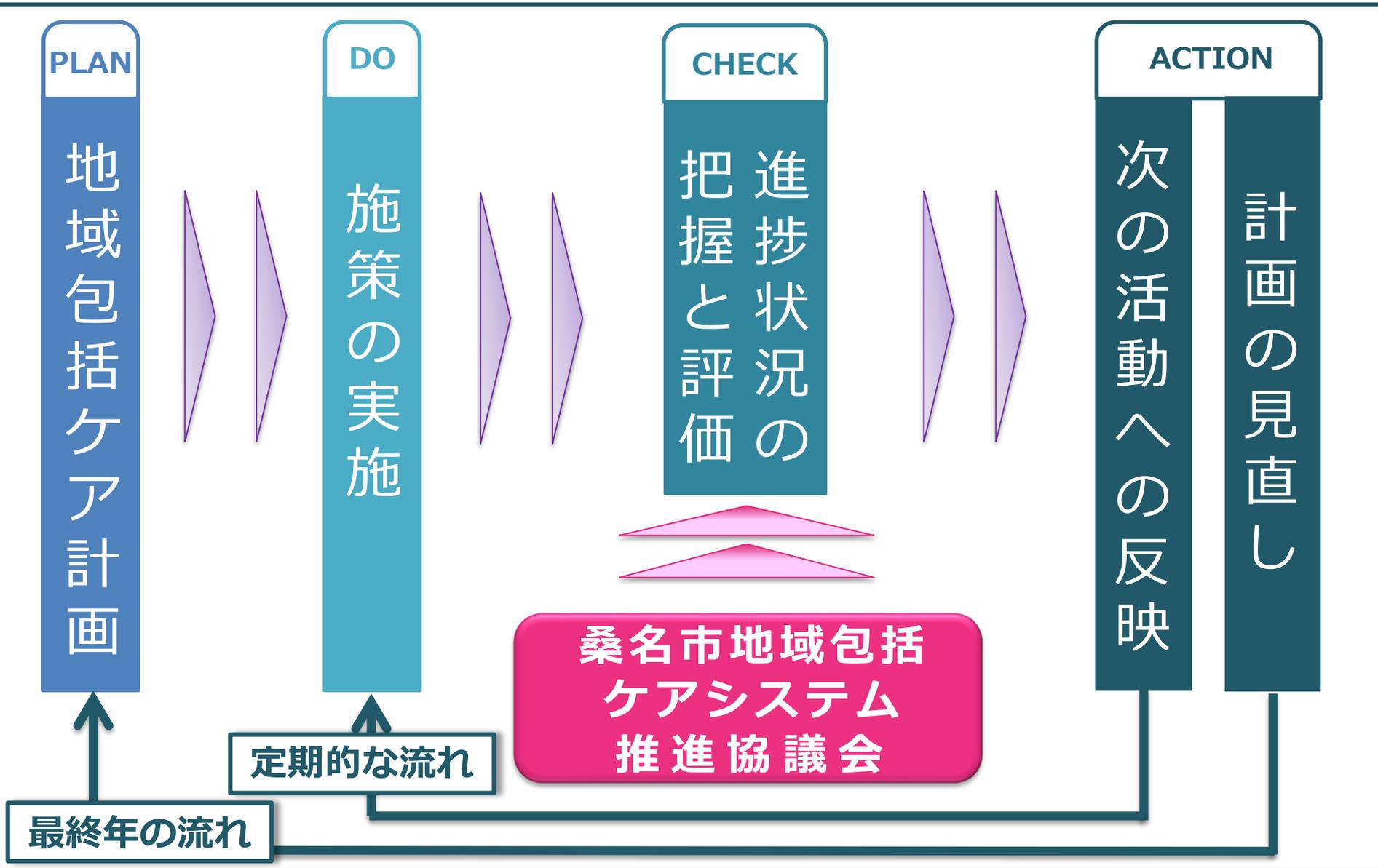
桑名市  
KUWANA CITY

## 2. 計画の評価手法について



本物力こそ桑名力

# 計画の進行管理の流れ



# 評価手法のイメージ

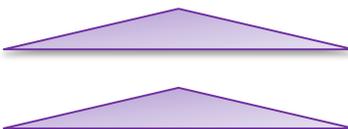
## 2つの評価の視点

### 計画の重点事項に係る施策・事業の評価

計画において位置づけた3つの重点事項に係る施策・事業について、それぞれの取組み状況に応じて評価する、いわゆるアウトプット評価を実施します。（毎年度の評価）

### 計画のアウトカム評価

施策・事業を推進した結果、市民や地域等に対してどのような効果・成果が上がったかという観点から指標を設定して、評価を行います。（計画期間終了後に評価を実施）



それぞれの評価指標に基づいて、自己評価及び外部評価を行います。

### 自己評価（桑名市）

桑名市は、各事業等ごとに目標の達成状況や評価指標の実績状況等を考慮し、所定の評価基準に基づいて自己評価を実施します。

### 外部評価（桑名市地域包括ケアシステム推進協議会）

桑名市地域包括ケアシステム推進協議会は、桑名市が実施した自己評価について精査し、協議の上、外部評価として意見を付します。



# 評価の基準について①

## 施策・事業に関する評価基準

評価		評価基準
◎	十分に できている	平成27年度の取組み状況について、十分に評価できるものであった場合など。 (例) ・数値目標をおおむね達成(90%以上達成)した。 ・取組み内容が他の自治体と比して先駆的に行われている。 など
○	ある程度 できている	平成27年度の取組み状況について、業務が予定どおり遂行できた場合など。 (例) ・数値目標を一部達成できなかった(60%以上90%未満達成)。 ・取組み状況が、その方向性にしたがって予定どおり遂行できた。 など
△	あまり できていない	平成27年度の取組み状況について、何らかの理由により業務が予定どおり遂行できなかった場合など。 (例) ・数値目標を一部達成できなかった(30%以上60%未満達成)。 ・何らかの理由により業務が一部遂行できなかった。 など
×	できて いない	平成27年度の取組み状況について、何らかの理由により業務がほとんど遂行できなかった場合など。 (例) ・数値目標がほとんど達成できなかった(30%未満達成)。 ・何らかの理由により業務がほとんど遂行できなかった。 など

# 評価の基準について②

## 計画のアウトカム評価に関する基準

評価		評価基準
◎	十分に成果が出ている	計画期間内の取組みの結果、市民や地域等に対して十分に成果が出ていると評価できる場合。 (例)・27年度・29年度と比較して、ほとんどの指標で成果(全体の90%以上の指標で成果)が出ている。
○	ある程度成果が出ている	計画期間内の取組みの結果、市民や地域等に対してある程度成果が出ていると評価できる場合。 (例)・27年度・29年度と比較して、一部の指標で成果が出なかった。 (全体の60%以上90%未満の指標で成果)
△	あまり成果が出ていない	計画期間内の取組みの結果、市民や地域等に対してあまり成果が出ていないと評価できる場合。 (例)・27年度・29年度と比較して、一部の指標で成果が出なかった。 (全体の30%以上60%未満の指標で成果)
×	全く成果が出ていない	計画期間内の取組みの結果、市民や地域等に対して全く成果が出ていない、または悪化した等と評価できる場合。 (例)・27年度・29年度と比較して、ほとんどの指標で成果が出ていない。 (全体の30%未満の指標で成果)



【計画書 P. ▲▲~▲▲】

タイトル（施策・事業名）

担当部署



計画書の掲載ページ

実施に関する基本

計画書の内容をもとに基本的な方針を記載

平成27年度までの目標・方向性

27年度の取り組み実績

# 評価シートの構成

- ※計画に「量の見込み」（計画値）があるものは、その数値を併記。
- ※上記以外のものは、「方向性」を矢印記号で表示。
- ※表中の数値は、年度途中の段階では「-」と表示。

評価基準はP.15を参照。  
外部評価としてのご意見等もここに記載。

評価の結果



【課題点及び今後の対応】

○ . . . .

【外部評価としてのご意見等】

○ . . . .

	方向性	26年度	27年度	28年度	29年度
○ . . . .					
○ . . . .					

# 介護予防・生活支援サービス事業（くらしいきいき教室）

【計画書 P. 299・300・345・346】

（地域介護課、サービス企画室）

## 実施に関する基本的な方針

生活機能の向上を実現するためには、通所型サービスを提供することにより、「心身機能」を改善するとともに、訪問型サービスを提供することにより、「活動」や「参加」を促進することが効果的であるものと考えられます。

認知症対応型通所介護等に係る指定地域密着型サービス事業者の指定又は通所介護等に係る指定居宅サービス事業者の指定を受けたものにおいて、運動、栄養、口腔、認知等に関するリスクを抱える高齢者を対象として、リハビリテーション専門職がアセスメント及びモニタリングに関与しながら、医療・介護専門職等が、

①送迎を伴う通所による機能回復訓練等、②訪問による生活環境調整等を組み合わせて一体的に提供する「短期集中予防サービス」（「くらしいきいき教室」）を創設します。

## 27年度の目標・方向性

- 事業者選定を行った上で、予定どおり平成27年7月よりサービス提供が円滑にできるよう事業者指定や契約締結等の所要の事務を進めます。
- 市民や関係者に対して本サービスの周知を図りながら、利用者の増加を図り、介護保険の「卒業」、地域活動への「デビュー」につなげていきます。

## 27年度の取り組み実績

- 公募型プロポーザル方式により事業者選定を行い、6事業者を選定し、平成27年7月1日付けで事業者指定・契約締結しました。
- 利用者が低調に推移していたため、地域生活応援会議やケアミーティング、窓口において、介護支援専門員等にサービス利用の呼びかけを行う等、利用促進に努めました。

## 評価指標（計画の「量の見込み」）

区分	27年度		28年度		29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
利用者数 (人/年)	464	34	631	-	640	-
事業費 (千円/年)	58,511	1,739	79,580	-	80,704	-

## 評価結果



### 【課題点及び今後の対応】

- 制度を把握していない介護支援専門員に対し、周知することでサービスにつなげていきます。
- サービス内容を、現行の回数以外にも利用させて欲しいという要望及び、今後事業所を増やすという方向性について検討します。

# 介護予防・生活支援サービス事業（健康・ケア教室）

【計画書 P. 311～315、344】

（地域介護課、サービス企画室）

## 実施に関する基本的な方針

地域で貴重な人材である医療・介護専門職を抱える重要な地域資源である医療機関及び介護事業所においては、医療や介護を必要とする者に対し、医療・介護サービスを提供する拠点となるほか、地域住民に対し、予防・日常生活支援サービスを提供する拠点となることにより、ひいては、地域に貢献し、かつ、地域に信頼される形で事業を運営することが期待されます。

このため、指定等を受けた事業所において、地域交流スペース等を活用するとともに、「高齢者サポーター養成講座」等を修了したボランティアと協働しながら、医療・介護専門職等が通所による運動、栄養、口腔、認知等に関する介護予防教室を開催するなど、要支援者及び「基本チェックリスト」該当者を含む地域住民が相互に交流する機会を提供するサービス（「健康・ケア教室」）について、実績に応じて助成します。

## 27年度の目標・方向性

- 平成27年4月より事業の開始が円滑に行えるよう所要の準備事務等を進めます。
- 市内の介護保険サービス事業者や医療機関に対し、事業の周知を図り、事業登録を促進し、在宅生活を過ごす高齢者の「通いの場」の確保につなげていきます。

## 27年度の取り組み実績

- 所要の準備事務等の手続きを経て、予定どおり平成27年4月より事業を開始できる体制を確保。
- 平成28年3月31日現在で15箇所が事業登録。
- 市内介護保険サービス事業所や医療機関に対し、地域密着型サービス事業所で開催される運営推進会議などの場を活用したり、医師会や歯科医師会を通じて事業の周知や事業登録の促進を行いました。

## 評価指標（計画の「量の見込み」）

区分	27年度		28年度		29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
開催箇所数 (箇所/年)	20	15	21	-	22	-
事業費 (千円/年)	4,800	1,080	5,040	-	5,280	-

## 評価結果



### 【課題点及び今後の対応】

- 平成27年度は、開催箇所数が計画の20に対して15であり、75%が達成できました。引き続き、周知と説明を行うことで、計画の数値を達成できるように努めたい。



桑名市  
KUWANA CITY

# 3.各施策・事業における評価結果 のまとめ



本物力こそ桑名力

# 各施策・事業における評価結果のまとめ①

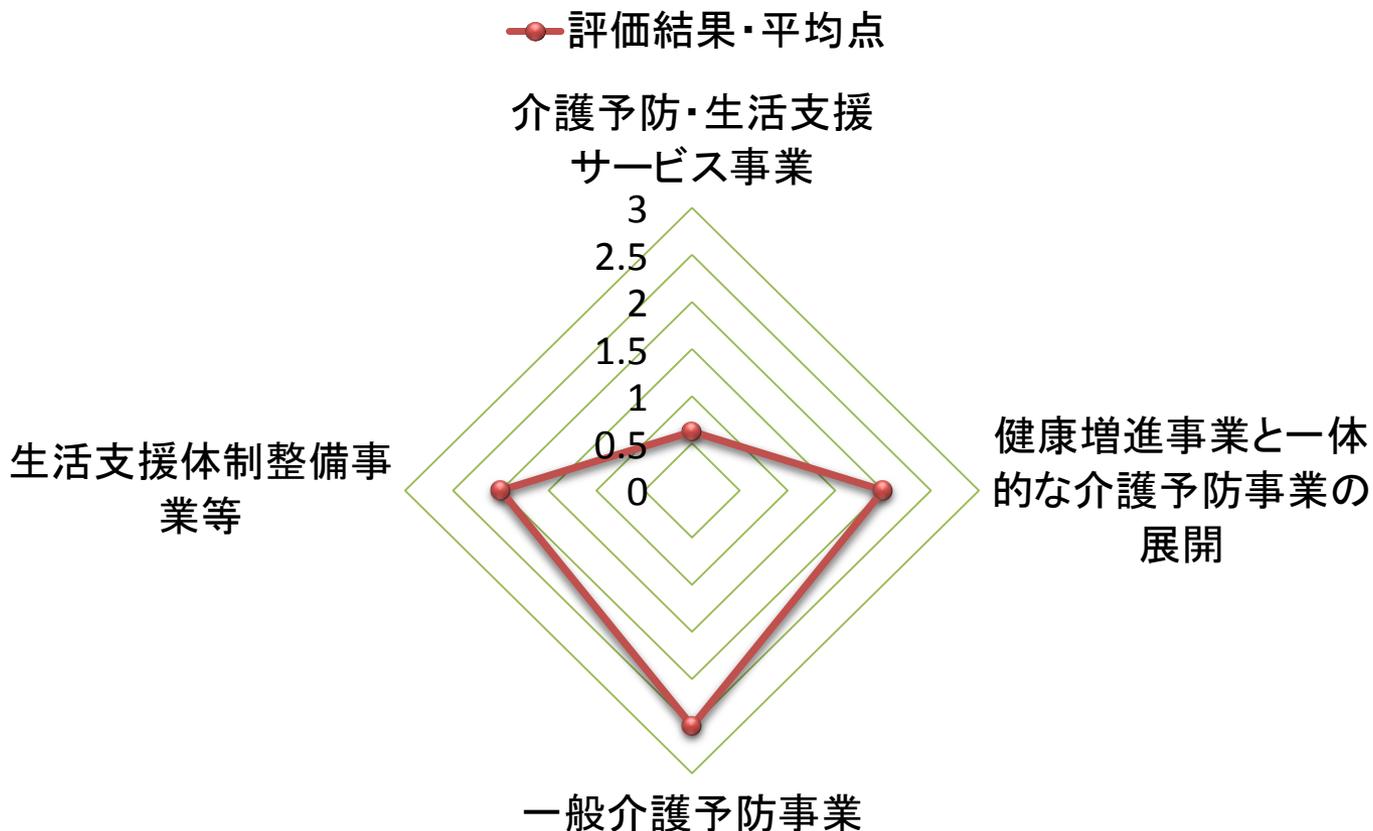
## 大項目（重点事項）：身近な地域での多様な資源の「見える化」・創出

中項目	施策・事業名	評価結果	中項目	施策・事業名	評価結果
介護予防・生活支援サービス事業	栄養いきいき訪問	×	一般介護予防事業	介護予防把握事業	◎
	お口いきいき訪問	×		おいしく食べよう会	◎
	くらしいきいき教室	×		高齢者サポーター養成講座等	○
	えぷろんサービス	×		桑名いきいき体操サポーター養成講座等	○
	おいしく食べよう訪問	×		桑名市介護支援ボランティア制度	◎
	「通いの場」応援隊	×	生活支援体制整備事業等	生活支援コーディネーターの設置	○
	シルバーサロン	◎		協議体の設置	△
	健康・ケア教室	○		地域住民に対する普及啓発	○
健康・ケアアドバイザー派遣				○	
健康増進事業と一体的な介護予防事業の展開		○			

# 各施策・事業における評価結果のまとめ②

大項目（重点事項）：身近な地域での多様な資源の「見える化」・創出

各施策・事業の評価を点数化(◎=3点、○=2点、△=1点、×=0点)し、  
中項目ごとに平均点を算出してグラフ化。



# 各施策・事業における評価結果のまとめ③

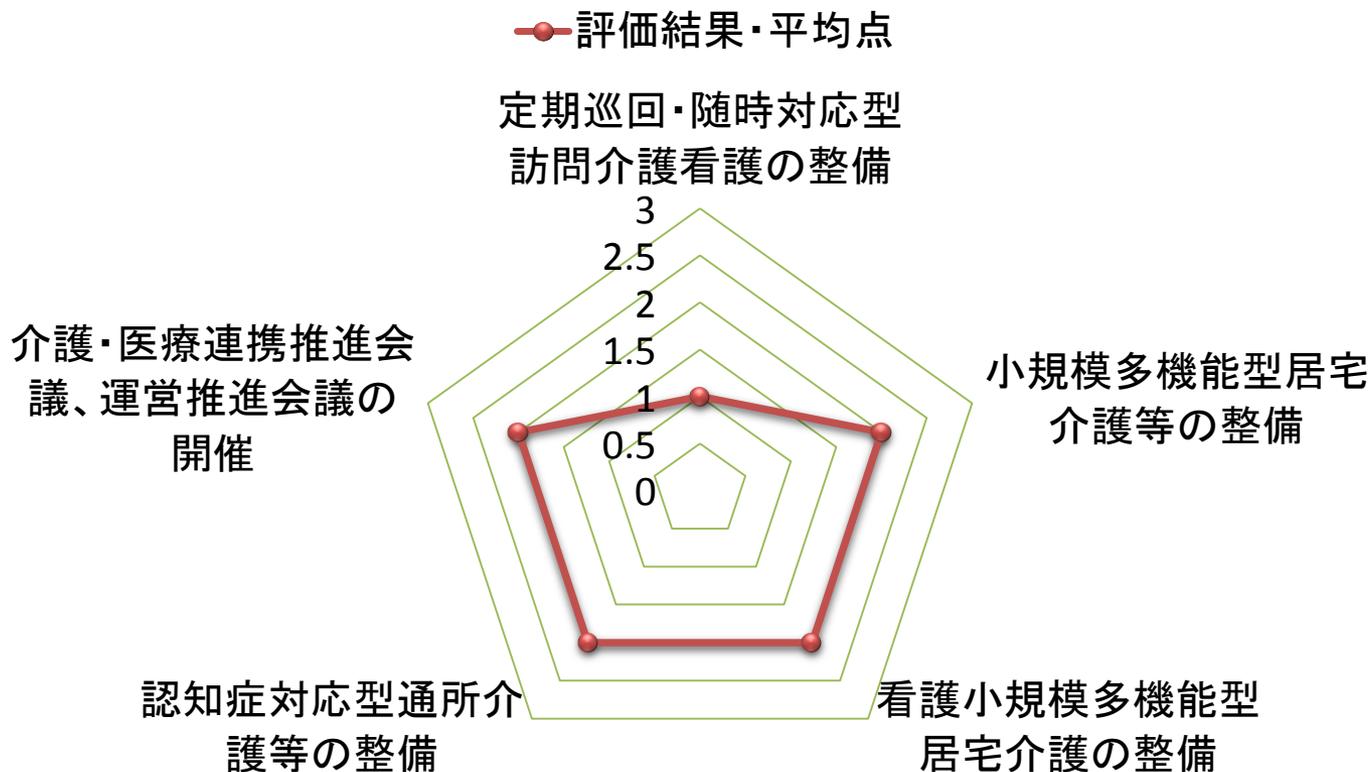
## 大項目（重点事項）：施設機能の地域展開

中項目	施策・事業名	評価結果	中項目	施策・事業名	評価結果
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備	△		認知症対応型通所介護等の整備	○
	小規模多機能型居宅介護等の整備	○		介護・医療連携推進会議、運営推進会議の開催	○
	看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）の整備	○			

# 各施策・事業における評価結果のまとめ④

## 大項目（重点事項）：施設機能の地域展開

各施策・事業の評価を点数化(◎=3点、○=2点、△=1点、×=0点)し、中項目ごとに平均点を算出してグラフ化。



# 各施策・事業における評価結果のまとめ⑤

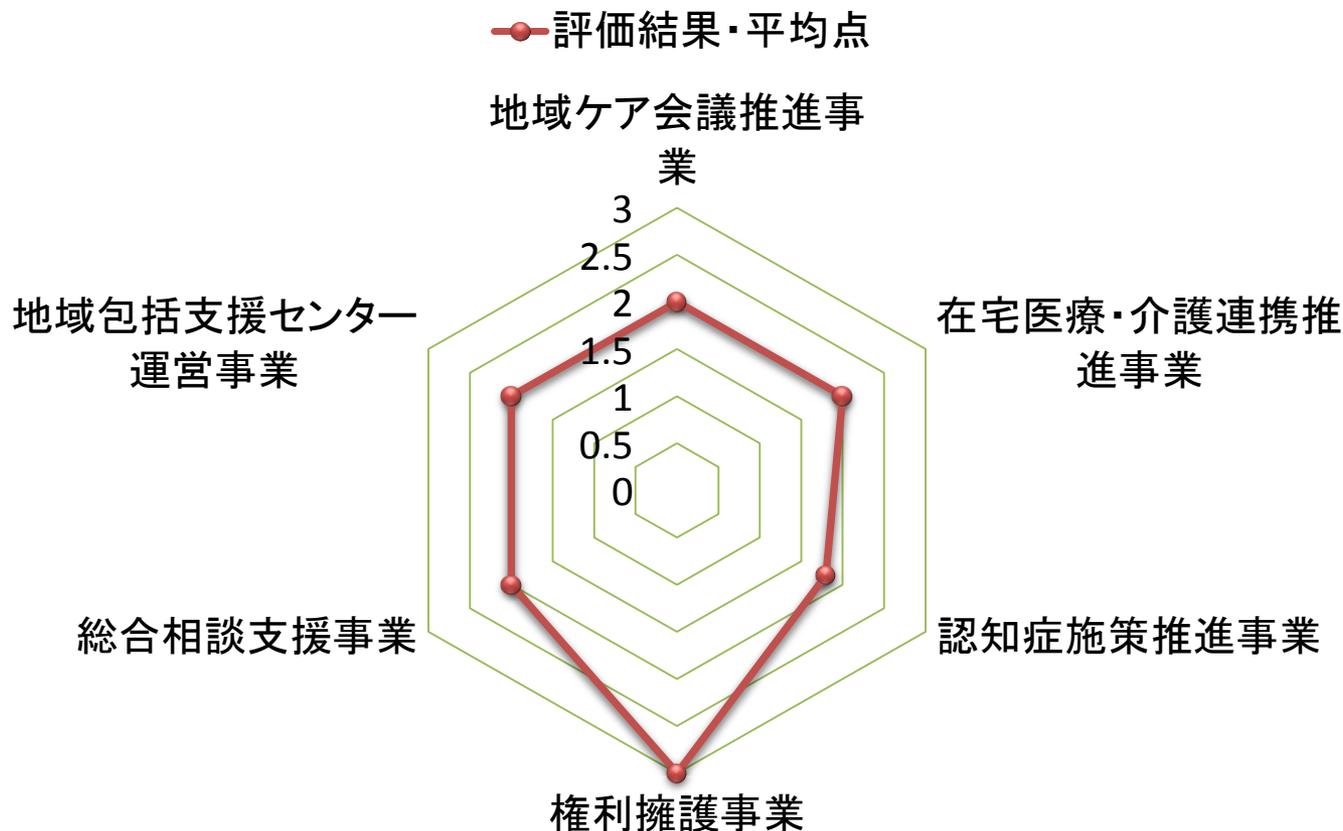
## 大項目（重点事項）：多職種協働によるケアマネジメントの充実

中項目	施策・事業名	評価結果	中項目	施策・事業名	評価結果	
地域ケア会議推進事業	地域支援調整会議	◎	認知症施策推進事業	桑名市認知症ケアパスの作成及び更新等	○	
	地域生活応援会議	△		認知症初期集中支援チームの設置	○	
	ケアミーティング	○		認知症地域支援推進員の配置	○	
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療・介護連携に関する相談の受付	○		桑名市認知症ケア地域連携調整会議等の開催	△	
	在宅医療・介護サービスに関する地域資源の「見える化」	○		オレンジカフェの開催	○	
	課題の抽出及びその解決のための方策の協議	○		権利擁護事業	法人後見及び市民後見の提供体制の整備	◎
	在宅医療・介護連携に関する地域住民に対する普及啓発	○		総合相談支援事業	高齢者見守りネットワーク	○
	在宅医療・介護連携に関する医療・介護専門職に対する研修	○	地域包括支援センター運営事業		○	
	在宅医療・介護サービスの提供に関する情報の共有	○				

# 各施策・事業における評価結果のまとめ⑥

大項目（重点事項）：多職種協働によるケアマネジメントの充実

各施策・事業の評価を点数化(◎=3点、○=2点、△=1点、×=0点)し、  
中項目ごとに平均点を算出してグラフ化。





桑名市  
KUWANA CITY

# 4. 計画のアウトカム評価



本物力こそ桑名力

# 計画のアウトカム評価 ①

各個別事業を推進した結果、市民や地域等に対してどのような効果・成果が上がったかを測ること（計画のアウトカム評価）は、計画の進捗を総合的に把握するために重要です。

このため、桑名市は次の通りアウトカム評価指標を設定し、計画進捗に対する効果・成果を把握します。

## 地域の支え合い体制の実現に関する評価指標

### 【地域で見守る「仕組みづくり」ができていていると感じる割合】

支援を必要とする方を地域全体で支えるために計画に基づき各種事業に取組み、これによって地域で見守る「仕組みづくり」ができていていると市民が実感できる社会を目指していきます。

	方向性	27年度	28年度	29年度
アンケートで「できている」等と回答した方の割合（%）		39.0	—	—

（出典）「桑名市まちづくりアンケート調査結果報告書」（桑名市）

※ 調査において、「地域で、高齢者や子ども等を見守る「仕組みづくり」ができていていると思いますか」との質問に対し、「できている」又は「どちらかといえばできていている」と回答した方の割合。

※ 上記の調査項目は、高齢者のものに限定していないことに留意。

### 【地域住民同士が交流する「場づくり」ができていていると感じる割合】

高齢者がいきいきと地域で生活できるように地域住民同士が交流する「通いの場」を創出し、「見える化」を図っていきます。こうした取組みにより、地域住民同士の交流の場ができていていると実感する方が増えていくことを目指していきます。

	方向性	27年度	28年度	29年度
アンケートで「できている」等と回答した方の割合（%）		30.6	—	—

（出典）「桑名市まちづくりアンケート調査結果報告書」（桑名市）

※ 調査において、「地域で、地域住民同士が交流する「場づくり」ができていていると思いますか」との質問に対し、「できている」又は「どちらかといえばできていている」と回答した方の割合。

※ 上記の調査項目は、高齢者のものに限定していないことに留意。

# 計画のアウトカム評価 ②

## 健康づくりの推進に関する評価指標

### 【健康寿命の年齢】

「健康寿命」とは日常的に介護を必要とせず、自立した日常生活ができる期間をいいます。介護予防・健康づくり等に関する各種事業を推進することにより、この健康寿命が延伸し、平均寿命に近づくことを目指していきます。

	方向性	25年		26年		27年		28年		(参考) 全国(25年)
		桑名市	(参考) 三重県	桑名市	(参考) 三重県	桑名市	(参考) 三重県	桑名市	(参考) 三重県	
男	(A)平均寿命(年)	81.3	80.2	81.6	80.9	-	-	-	-	80.21
	(B)健康寿命(年)	78.8	77.4	79.0	78.0	-	-	-	-	71.19
	(A)-(B)(年)	2.5	2.8	2.6	2.9	-	-	-	-	9.02
女	(C)平均寿命(年)	86.8	86.6	87.5	87.1	-	-	-	-	86.61
	(D)健康寿命(年)	80.8	80.3	81.6	80.7	-	-	-	-	74.21
	(C)-(D)(年)	6.0	6.3	5.9	6.4	-	-	-	-	12.40

- (出典)「簡易生命表」(厚生労働省)、「健康日本21(第二次)分析評価事業」(厚生労働省)、三重県健康づくり課資料  
 ※ 三重県及び本市は、Chiang法により平均寿命を算出し、またSullivan法により健康寿命を算出。厚生労働省から発表されている健康寿命とは推計方法が異なることに留意。  
 ※ 公表される時期を考慮して、25年～28年の数値により評価。

### 【健康と感じる割合】

介護予防・健康づくり等に関する各種事業を推進することにより、市民の健康づくりの意識醸成やセルフマネジメントの活動等につなげ、自身が健康だと感じる人の割合の向上を目指していきます。

	方向性	26年度	27年度	28年度	29年度
アンケートで「感じる」と回答した方の割合(%)		72.8	75.1	-	-

- (出典)「桑名市日常生活圏域ニーズ調査【いきいき・くわな】報告書」(桑名市)  
 ※ 調査において、「普段、ご自分で健康だと思いますか」との質問に対し、「とても健康」又は「まあまあ健康」と回答した方の割合。

# 計画のアウトカム評価 ③

## 介護予防・重症化予防の実現に関する評価指標（1）

### 【要支援認定率・要介護認定率】

要介護（要支援）認定率は第1号被保険者数に対する要介護（要支援）認定者数の割合であり、今後、75歳以上の人口割合が増える見込みであるため上昇することも予測されますが、この割合の維持を目指します。

	方向性	26年度			27年度			28年度			29年度		
		桑名市	(参考)三重県	(参考)全国									
要支援認定率 (%)	→	4.6	4.9	5.1	4.0	4.9	5.2	-	-	-	-	-	-
要介護認定率 (%)	→	11.3	13.9	13.2	10.8	13.9	13.3	-	-	-	-	-	-
認定率計 (%)	→	15.9	18.8	18.4	14.8	18.8	18.5	-	-	-	-	-	-

(参考) 桑名市の要支援・要介護認定者数等

	26年度	27年度	28年度	29年度
要支援認定者数 (人)	1,558	1,394	-	-
要介護認定者数 (人)	3,848	3,782	-	-
第1号被保険者数 (人)	33,905	34,861	-	-
基本チェックリスト該当判定者数 (人)	-	66	-	-
基本チェックリスト該当判定率 (%)	-	0.19	-	-

(出典) 「介護保険事業状況報告」(厚生労働省)、桑名市保健福祉部地域介護課資料

※ 要支援・要介護認定率は、第1号被保険者数に対する要介護・要支援認定者数(第2号被保険者の認定者数を含む)の割合。(各年9月30日現在)

※ 基本チェックリスト該当判定率は、第1号被保険者数に対する基本チェックリスト該当判定者数の割合。(各年9月30日現在)

# 計画のアウトカム評価 ④

## 介護予防・重症化予防の実現に関する評価指標（2）

### 【要支援・要介護度の改善度】

要介護（要支援）認定を受けた方のうち1年後に要介護（要支援）度が改善した方の人数を追跡調査し、その改善した方の割合を算出した上で、この割合が上昇することを目指します。

	方向性	25年度 ⇒26年度	26年度 ⇒27年度	27年度 ⇒28年度	28年度 ⇒29年度
要支援・要介護の改善度（%）		12.6	14.1	-	-

（出典）桑名市保健福祉部地域介護課資料

- ※ 各年度9月30日時点の要介護（要支援）認定者数のうち、その翌年度の9月30日時点で要介護（要支援）度が改善された方の人数を把握し、その人数が従前の要介護（要支援）認定者数に占める割合を算出。
  - ・要支援・要介護の改善度(%) = (翌年度に要介護（要支援）度が改善された人数) / (調査の母集団（要介護（要支援）認定者数）) × 100
- ※ この算出にあたっては便宜上、調査の母集団から以下の方を除いて算出していることに留意。
  - ・期間中死亡等により資格を喪失した方を除く。
  - ・更新申請がなかった方（基本チェックリスト該当判定へ移行した方を含む）を除く。

## 住み慣れた地域での生活継続の実現に関する評価指標（1）

### 【介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられると感じる割合】

介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、計画に基づき各種事業に取り組んでまいります。この取り組みにより高齢者自身も地域で暮らし続けられると実感できる社会を目指していきます。

	方向性	27年度	28年度	29年度
アンケートで「感じる」と回答した方の割合（%）		56.4	-	-

（出典）「桑名市日常生活圏域ニーズ調査【いきいき・くわな】報告書」（桑名市）

- ※ 調査において、「介護が必要になっても、医療、介護サービスを受けながら住み慣れた地域で暮らし続けられると感じますか」との質問に対し、「とても感じる」又は「まあまあ感じる」と回答した方の割合。（この調査項目は、27年度より追加。）

# 計画のアウトカム評価 ⑤

## 住み慣れた地域での生活継続の実現に関する評価指標（2）

### 【自宅で亡くなった方の割合】

地域包括ケアシステムを構築し、医療・介護の連携体制の確保等を図ることによって、本人又はその家族が自宅で最期を迎えることを望んでいる場合にその希望が実現できる社会を目指していきます。

	方向性	25年			26年			27年			28年		
		桑名市	(参考)三重県	(参考)全国	桑名市	(参考)三重県	(参考)全国	桑名市	(参考)三重県	(参考)全国	桑名市	(参考)三重県	(参考)全国
死亡総数のうち自宅で亡くなった方の割合 (%)		11.3	13.2	12.9	12.1	12.7	12.8						

（出典）「人口動態統計」（厚生労働省）、「三重県の人口動態統計」（三重県）

※ 公表される時期を考慮して、25年～28年の数値により評価。

## 計画のアウトカム評価での評価結果

計画期間終了後、評価を実施



桑名市  
KUWANA CITY

## 5.新しい「介護予防・日常生活支援 総合事業」の周知



本物力こそ桑名力

# 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」の周知①

- 早期に新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始した市町村は、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」のほか、地域包括支援センター運営事業及び任意事業に関しても、国、都道府県等の地域支援事業交付金の対象となる費用の上限について、優遇されること。
- かつて、介護保険制度が導入されたことに伴い、介護サービスの提供体制の整備が促進されたように、今後、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始されることに伴い、多様なニーズに応じた多様なサービスの整備が促進される効果も、期待されること。



- 桑名市では、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」について、「小さく生んで大きく育てる」という考え方にに基づき、まずは、平成27年4月に開始した上で、その後、必要に応じ、見直す方針。



平成27年3月14日  
介護予防・日常生活支援総合事業に関する  
研修会

# 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」の周知②

○ 平成27年4月17日

地域包括支援センター職員及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員等80人参加。  
通所型サービスB、訪問型サービスB、C及び介護予防ケアマネジメントの運用について説明を行いました。

○ 平成27年6月16日

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の介護支援専門員等101人参加。  
通所型サービスC「くらしいき教室」、介護保険特別給付、及び地域生活応援会議の運用等について説明。  
「くらしいき教室」のサービス提供事業所から、サービス提供内容についての説明。  
「総合事業の導入に向けた歩み」として、生駒市における『短期集中予防サービス』の事例紹介を行い、サービス事業者に求められる役割を呼び掛けた。

○ 平成28年9月29日

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の介護支援専門員等113人参加。  
地域介護課サービス企画室職員より「介護予防・日常生活支援総合事業」の制度設計及び取組み、実施状況について説明。  
平成28年10月よりサービス提供開始予定の新たな「桑名市くらしいき教室」実施事業所による実施方針の説明。  
「桑名市くらしいき教室」既設事業所の取組み事例の発表。

平成27年4月17日  
介護予防・日常生活支援総合事業に関する研修会



平成27年6月16日  
7月より開始する新たなサービス等の説明会



平成28年9月29日  
平成28年度介護予防・日常生活支援総合事業説明会



# 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」の周知③

○ 地域包括支援センター主任ケアマネ部会による「エリアフリーケアマネジャー交流会」  
地域介護課より総合事業等についての説明、生活支援コーディネーターより地域資源の情報提供、ケアマネジャー同士で交流会を開催。

南部包括圏域で平成28年6月16日に開催。24名参加。  
北部東包括圏域で平成28年6月16日に開催。24名参加。  
北部西包括圏域で平成28年7月5日に開催。24人参加。  
東部包括圏域で平成28年7月12日に開催。18名参加。  
西部包括圏域で平成28年7月19日に開催。17名参加。

○平成28年1月以降、広報誌リニューアルに伴い「地域包括ケアシステム」についての特集と地域の通いの場について毎号掲載。

平成28年7月12日 北部東圏域



平成28年7月19日 西部圏域



広報くわな  
平成28年10月1日号



桑名市  
KUWANA CITY

## 6 . 事例紹介



本物力こそ桑名力

90代 男性  
膝痛・圧迫骨折  
などで、  
このような状態

## くらしいきいき教室のご利用者例①

元気アップ  
交付金



# 自立支援に資するケアマネジメント

### ○歩行補助具の選定

シルバーカーか？杖か？

### ○家庭環境への留意点

トイレ・浴室・畑への移動など

### ○疾病に対する食事の留意点

高血圧の持病あり塩分摂取は？

### ○通所

四肢体幹筋力向上

### ○訪問

自宅内動作の自立

⇒庭に出て畑仕事ができる環境へ繋ぐ

### ○専門職

モニタリングを通してのアプローチ

### ○元気アップ計画書

自主トレーニングの実施

姿勢の保持

栄養バランスに気を付ける

腰痛悪化防止の策

畑で野菜を作る



## 地域生活応援会議

多職種協働による  
ケアマネジメントの充実



生活機能の向上の為の  
自立支援に資するサービス提供

## くらしいきいき教室



## 地域活動デビュー

住み慣れた地域での  
参加・活動

元気アップ  
交付金



## くらしいきいき教室のご利用者例②

70代 女性  
H17クモ膜下出血後  
⇒特養等施設入所  
⇒H28.3 要支援認定  
⇒他県からの転入

# 自立支援に資するケアマネジメント

### 【目標】

買い物や美容院へ行きたい  
近所の喫茶店へ一人で行きたい

### 【アドバイスのポイント】

日中の本人の活動・役割に  
つながる支援について

### ○通所

入浴動作練習・歩行訓練  
自宅を取り組める運動・活動

### ○訪問

住環境の調整（お風呂・玄関周辺）  
外出機会の確保

### ○専門職

外出経路の確認・外出付き添い者への伝達

### ○ご本人

手芸活動に参加でき  
自信につながる

### ○事業所

事業所内の支援から  
地域への支援へ



## 地域生活応援会議

多職種協働による  
ケアマネジメントの充実



生活機能の向上の為の  
自立支援に資するサービス提供

## くらしいきいき教室



## 地域活動デビュー

住み慣れた地域での  
参加・活動

ご清聴ありがとうございました



本物力こそ桑名力

